



2017 11・12  
えんだより ☆

社会福祉法人 恵泉福祉会  
光の子保育園  
園長 長島 博樹

## 主 題 讃美

### 月のおがい

- クリスマスの意味を知り、楽しみに待ち祝う。
- 心を合わせて喜びや感謝を表現する。
- 社会や世界の出来事に関心を持ち、自分達に出来ることを考える。

### おことば

いと高きところには神に栄光があるように  
地の上ではみこころにかなう人々に平和があるように  
(ルカによる福音書2章14節)

## 行 事 予 定

12 月

- 07 日(木) クリスマス祝会予行
- 09 日(土) クリスマス祝会 (於: ウィンチェトンホテル)  
※ 詳細は別途お渡しする招待状をご覧ください。
- 11 日(月) 八街少年院慰問 (4・5歳児のみ)  
途案内を参照ください。
- 28 日(木) 年内保育終了日・ランチデー



1 月

- 04 日(木) 保育開始日・ランチデー
- 08 日(月) 休日(成人の日)
- 12 日(金) お茶会・かるた会
- 13 日(土) マラソン大会・誕生日会
- 15 日(月) 書初め
- 27 日(土) 保育参観



あ り が と う ご ざ い ま し た !

栗飯原美由紀、愛莉ちゃんのおじいさま、おばあさまより  
お餅つきに使う、子ども用の杵を頂きました。  
早速、1月のお餅つき大会から、使わせていただきます。

今年卒園した、車田さんのおばあさまより  
美味しいリンゴを贈ってくださり、給食やおやつにいただきました。

## ホスピタリティ

秋から冬へ移りゆく季節。廊下には、この一年の子ども達の生活記録を写真として張り出されています。入園したてのさまざまな子ども達の表情が浮かんできますと、本当に一人ひとりの成長の豊かさを実感します

いよいよクリスマスに向けて準備が始まりました。毎年子ども達はモンテッソーリのお仕事の中でクリスマスアドベントの「ろうそくのお仕事」をして、クリスマスの練習に入ります。イエス様が生まれた喜びだけではなく、なぜイエス様が生まれたか、私たちはイエス様の誕生によって神様からどんなプレゼントをいただいたかということ、ローソクの光を通して伝えられるお仕事です。

年中～年長児はこれらをしっかりと受け止め、今まで以上に自分らしさ又自分が与えられた力をしっかりと使い、この短期間においても「心」と「技」と「体」を磨いています。

先日、畑からピンクさん(3歳児)が瑞々しい大根を抜いてきてくれ、それを先生がスティック状に切り、昨年みんなで作った味噌とマヨネーズを添え、各クラスに配ってくれました。年長さんはクリスマスのページェント練習が終わって、用意してあった大根を見て、それぞれつまみ出しました。ある仲良し女の子3人がむさぼるように食べ続けていました。それを見た男の子は、「そんなにおかわりしたら、他のお友達の分がなくなってしまうから、『おかわりしてもいいですか?』って聞いたの?」と何度もたずねていました。それはいつも給食やおやつのおかわりの時、ほかのお友達のことを考えるルールがあるからです。しかし女の子たちの勢いは止まらず、男の子の声に耳を傾けようとはしませんでした。男の子は悲しい顔をして担任に話に来ました。先生はその場で見守っていると、女の子達はその目線に気付きました。「Sくんが何かお話しているよ」と一言いい、女の子達に聞いてもらえず、悲しい思いでいる男の子の気持ちに気付いてもらえるように声をかけただけでした。女の子達は暫く考えて「Sくんは他のクラスにおかわりしていいか聞くように言ってくれたので私達は聞かなかったからSくんにあやまってくる。」また、もう一人は「だいこんをいっぱい食べてごめんなさい。Sくんの話を聞かないでごめんなさい」男の子は晴れ晴れとすぐに許してくれました。

大人はルールを守らなかった子ども達を正すことに目を向けがちです。しかし、先生は3人の女の子の仲良しだから生まれる競争心と、仲間といつも一緒だから止めるタイミングがつかめない、助長されていく同調性や張り合い、また、人の意見を耳に入れない自制心から、他者を傷つけることがあるという事を分かってもらいたいと、心を育む対応をしてくださいました。教育は、大人の視点や考え方によって向かう方向が異なります。私達大人は、何が正しいかを子ども達に教える裁判官ではありません。子ども達が成長する上で様々な人と受入れ合い、判断し、自分が神さまに向かって正しい人になろうとする心を育てるものでありたいと願います。クリスマスを前に、このことを改めて確認させてもらうことができたエピソードでした。

このエピソードから、昨年、日本一のホテルに輝いた、ザ・ブセナテラス(沖縄県名護市)の支配人の方のお話が頭に浮かびました。ホテルには様々な分類がありますが、このホテルはその中でリゾートホテルに位置しています。きっと日本一に選ばれるからにはサービスが素晴らしいのだろうと考えます。しかし、支配人のお話しから、サービスとホスピタリティの違いに感銘を受けました。

それは、「サービスは心が無くても提供できますが、ホスピタリティは心が無ければ提供できません。」という言葉で始まりました。ブセナテラスは海に向かって広がっているので、お客様に便利でわかりやすいサービスをと洗濯機を置き、水着をすぐに洗えるようにと配

慮したことがありました。しかし、たった2~3日の滞在に洗濯機の空きを気にすることが本当の意味でのリゾートだろうか？日常から離れた安らぎは、洗濯機待ちをすることから解放する必要があるのではと考え、2~3年前から撤去しました。もちろんお客様からの要望や苦情があるようです。そればかりではありません、館内案内もほとんど見当たりません。あえて表示していないそうです。案の定「トイレはどこだろう？」「どうやって行けばいいのだろう？」と探し回るお客様もいます。また、コンビニや食事をする場所は宿泊棟からは離れており、台風の多い沖縄では雨に濡れながら食事に行かなければならず、フロントで雨合羽を貸し出します。宿泊棟は、海に向かい大きな開口で風通りの良い造りになっており、吹き付ける雨が時に館内に入ってきます。沖縄建築の特徴として雨端(あまはじ)という軒先が大きくせり出しているのも、水浸しになることはないようですが、移動の際濡れることもあります。このように、「ある人には、不快で不便さを感じるかもしれませんが、それよりも、沖縄でしか味わうことのできない、非日常を楽しめる素敵な大人の方々にリピートされ愛されている。」と話しておりました。光の子も「子どもがいなければ味わえない楽しさ」を共に楽しめる方たちに支えられており、感謝申し上げます。

このような方たちとホテルスタッフの方々は、心を通わせるチャンスを作り出す環境を大切にしています。ただその時に便利に終わるサービスではなく、館内のサインボードを探し回っているお客様の様子に気づいて声を掛けるという、心の交流から生まれてくる安らぎが、ホスピタリティなのだという事を教えて頂きました。

今、すぐに結果が求められ、権利主義・自己中心性の中で、人と人が傷つけあう事や懐疑心を膨らませてみなければならない社会集団が多い中、このようなポリシーを持って批判や苦情に負けず、ホスピタリティを貫くこのホテルの姿勢の中には「志高く、誇りと情熱を持って仕事に当たる。」「厳しいプロの目と心優しい想像力のある人であれ」と掲げられ、ホテルのロケーションや建物の良さに負けたくないというプライドを持って働かれています。子どもと関わる大人として通ずるものがあると感じました。

保育施設も様々です。園内にカメラを設置し安心安全と謳っていても、保育士はカメラの死角を探して過ごしている。という話も聞きます。また、作業削減のために、システム機器、ロボット、タブレットと電磁波の多い環境に置かれている子ども。保護者ニーズ保護者サービスが高まる一方、子どもが子どもらしく育つ環境は侵されています。一見大人が見ると整えられた環境に見えても、子どもは、どんぐり一つ拾って持って帰れない、また、甘えたい時に抱っこしてもらえないような環境もあります。幼児期の甘える力は将来、自分の想定外のことや逆境に反発反抗、絶望を和らげる手助けや力になるのです。

クリスマスの練習中、年長の男児が楽器のバチを2本折ってしまいました。男の子は謝りに来てくれました。形あるものはいつか壊れるもの。子どもの世界はその連続です。しかし、そこから何を学び、何を産み出すかが子どもの成長になるのです。もちろん、光の子でも良い事悪い事、皆が共に成長するためのルールもあります。そこから何に気づき、自分の中で何が育まれるかという心の交流が、大人になって様々な価値観の人と関わり、世界を広げていく上で重要なのです。自分で感じ、自分で判断し、自分で行動する力を育むために今のひと時があるのです。

クリスマスは正しい人の為、豊かな人の為だけにあるのではなく、貧しく虐げられた悲しんでいる人の、光となる為にキリストは生まれてくださった日。光の子では、毎年少年院の更生間近な青年たちに、子ども達のページェントを披露し、希望の光を届けます。私たち大人の心も、素直に神さまに感謝と祈りをささげられるクリスマスを迎えたいと思います。

皆様のご家族に Wishing your family peace and love at Christmas and always





## クリスマス祝会 みどころ



### 宿り木について

今年も光の子の子ども達に思いをかけて下さる、森林風致計画研究所の清水裕子先生より宿り木が送られ飾ることになっています。(先生よりこのようなメールを頂いております。)

お世話になっております。

春～夏にかけて、体の不調により、短期の入院をしたりバタバタしておりました。

大変ご無沙汰をして、申し訳ありませんでした。

さて、ヤドリギですが、今年はなかなか採取ができる大木が見つからず、

苦戦をしておりましたが、本日やっと採取可能なヤドリギが見つかり、

持ち主さんに許可を得られました。

当然、例年通り、光の子保育園の皆様へお送りしたいと思います。

大きさは例年の程度でよろしいですか？また、納期はどういたしましょうか？

ご教示いただけましたら幸いです。

この時期になると、子供達が喜んでくれるかなあと思いながら、

ヤドリギを探しています。

今年も無事、お届けすることができ、ホッとしています。

楽しみに送らせていただきます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### プログラムについて

今年のプログラムは「家族のおへそ」のテーマに添って、子ども達のイニシャルを先生たちが刺繍しボタンバッチに仕上げました。子どもたちの存在が皆様の中心にありますように。

### 礼 拝

イエスキリストファミリー教会大橋牧師先生が当日お話しをして下さいます。一年かけて子ども達のお集まりで神様のお話しをしてくださっている、子ども達も大好きな牧師先生です。

### 4・5歳児ページェント

今年も光の子伝統のページェント。紫さん・黄色さんそれぞれが自分の役柄になりきって表情をつくったり声のトーンをつくったりと、とても生き生きしています。

お星さまのクリスマスバレーは、昨年度、卒園された柏原花音ちゃんのお母様がボランティアでご指導してくださいました。

今年は、どのように見ている方の心に響くでしょうか…。2017年バージョンをお楽しみに！

## あひる組(0、1歳児) 「サンタクロースがかぜひいた」

(作：ジュリー・サイクス 絵：ティム・ワーンズ)

今年のおひる組の子ども達は、楽しいことが大好き!! 何でも笑いに変わってしまう子ども達! 今年の劇は、そんな子ども達にぴったりのお話です。練習をしても、キャッキヤと嬉しそうに出番を待っているみんな。それでも、自分の出番になると目印を意識して立つんですよ。たった1週間の練習で自分の番になるまで待って、セリフを言ったり動いたり仲間と一緒に成長して来たからこそ今の姿をどうぞお楽しみに。そんな子ども達の姿を信じて、会場の皆様を笑顔でいっぱいにできたらと思います。合言葉は・・・「ハックション！」

## りす組 (2歳児) 「木の実のケーキ」

クリスマスをお待ちにしているくまさんは、森の仲間とお祝いするために、クリスマスの前日、木の実のケーキを作りました。上手に出来たケーキを見て、満足そうに眠りにつきたくまさん。ところが、静かなはずのお部屋から何やら物音が…そうです。木の実もまた、木のお母さんたちと過ごすクリスマスをお楽しみにしていたのです。クリスマス当日、それぞれの思いは、みんなのクリスマスはどうなるのでしょうか。

りす組さんは、この劇をやるにあたって、みんなでもう一度、クリスマスの意味や大好きな家族・友だちへの思いを考えました。そんなりす組さんが皆さんに、自分の役に思いを乗せて、クリスマスのお大切さを届けます。どうぞお楽しみに!

## 3歳児「私のお気に入り」

クリスマスは、イエス様の誕生日。イエス様はなぜ、生まれたのか? クリスマスは、サンタさんからプレゼントをもらうためではなく、『世界の幸せ』にとって大事な日であることをピンクさんなりに理解し、みんなで一緒に劇をつくりあげてきました。

今年のお劇は、絵本があるわけではなく、世界で語れてきたメルヘンのお話を音楽劇に仕上げてみました。動物たちが、それぞれの精一杯の純真な思いを込めて、イエス様のお誕生をお祝いしようとするアドベントの心がいっぱい詰まった、可愛い今のピンクさんに重なるようなお話です。

劇中で、三拍子の歌にもチャレンジ! 三拍子は、子どもたちにとって馴染みのないリズムですが、繰り返していくうちに少しずつ慣れ、日常の中でも口ずさんでいる姿も…クリスマスへの思いを大切にしている気持ちが表れている劇です。この思いを今日は、子どもたちが皆様に届けます。どうぞご覧下さい。

#### 4歳児「青い鳥」(作:メーテルリンク)

童話、そしてクリスマスのお話としても有名な「青い鳥」  
運動会で心を1つにしたキイロさんの子どもたちは、クリスマス祝会で行うこの「青い鳥」  
にも気合十分！練習当初から、劇の最後に歌う歌をととても気に入り、いつも口ずさんでい  
ました♪そして練習を重ねるうちに、チルチルとミチルはもちろん、一人一役をしっかりと担い、セリフも歌も自信を持って表現できるようになった子どもたち！  
さあ、チルチルとミチル、その仲間たちが“本当の幸せ”を探す旅に出発します。果たして  
幸せの青い鳥、そして本当の幸せを見つけ出すことはできるのでしょうか？

#### 5歳児

##### 1. 合奏 「IT'S BEGINNING TO LOOK LIKE CHRISTMAS」

映画「ポーラーエクスプレス」のサウンドトラックより。何かが始まりそうなワクワクして  
くる曲調ににご注目♪

##### 2. 歌 「Santa Claus Got Stuck In My chimney」

プレゼントを届けに来てくれた、太っちょサンタさんが…なんと煙突にはまって抜けなく  
なっちゃった！どうしよう！

今回も関野しょうきくんのお母様に歌詞の意味、発音、日本語訳のご指導をして頂きまし  
た。コミカルで可愛らしい歌に仕上がっています。

##### 3. 合奏&歌 「somewhere in my memory」

最後を飾るのは、映画「ホーム・アローン」のサウンドトラックより。クリスマスのキラ  
キラと輝くイメージにぴったりのこの曲。キャンドルの炎、ジンジャーブレッドのクッ  
キー…私達の心の中にあるクリスマスの素敵な思い出を蘇らせてくれます。

慣れないドレミの合奏に苦戦しつつも、一人ひとりが時間を見つけては練習をして仕上げ  
てきました。

20人の気持ちを一つに！皆さんへ、クリスマスの喜びを音楽にのせてお届けします！



#### 献金について



献金は、守り育て下さる神様に感謝して献げます。現在この世界には、虐げられている人、  
困難に直面している人、助けや支えを必要としている人、戦禍に怯える人などたくさんいます。  
私たちも、この世界の人々が、希望を失わず、前を見て歩いて行けるよう、また、イエス様が  
お生まれになったこの素晴らしい日、世界中が喜びに満ち溢れますよう、願いを込めて神様に  
献げます。